

北見市における景気動向調査報告書

< 第 III 四 半 期 >

北 見 商 工 会 議 所

I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 平成17年1月14日

(2) 調査対象期間 平成16年10月～12月期実績および平成17年1月～3月期見通しについて調査した。

2. 調 査 対 象

北見市に所在する企業を対象に、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を往復ハガキにより調査した。

3. 回 収 状 況

業 種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回 答 率
製 造 業	30社	22社	73.3%
建 設 業	30社	21社	70.0%
卸 売 業	30社	23社	76.7%
小 売 業	35社	22社	62.9%
サービス業	25社	19社	76.0%
合 計	150社	107社	71.3%

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)で好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

II . 概 況

《 全 体 の 動 き 》

平成17年度第Ⅲ四半期<10月～12月>の北見市における業況は、前年比で「好転企業」14.0、「悪化企業」53.3、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は△39.3となっています。このD・I値を前期調査<17年度第2四半期>と比較してみると前回△36.2→今回△39.3と3.1ポイント悪化、「好転企業」が2.2ポイント減少、「悪化企業」が0.9ポイント増加しており、前期調査との比較では徐々に悪化傾向を示しています。また前年同期比(△40.3)との比較では、1.0ポイントと好転はしていますが前年の水準に戻りつつあります。

今回の業況を業種別で見ると製造業D・I値△31.9、建設業D・I値△38.2、卸売業D・I値△26.0、小売業D・I値△40.9、サービス業D・I値△63.1となっており、前年同期調査と比較すると製造業・建設業・卸売業では改善が見られ、小売業・サービス業については悪化傾向を示しており、全体的には改善傾向にあるものの数値は高く依然として厳しい状況にあります。

また、来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」10.3%「悪化企業」51.4%でD・I値△41.1と、前年同期見通し(△40.4)に比べ0.7ポイント悪化しており、前年同期並びに前期調査と比較してもほぼ同じの水準になっており、依然として先行きの見えない来期見通しとなっています。

《 業 種 別 の 動 き 》

1) 製 造 業

生 産 高

前年比で「増加企業」13.6%、「減少企業」50.0%、D・I値△36.4と前年同期に比べ1.7ポイントの改善、しかし、前期調査との比較では7.7ポイント悪化しており、前期では落ち着きを見せていたが、再び悪化傾向を示しております。

採 算

前年比で「好転企業」18.2%、「悪化企業」59.1%、D・I値△40.9と前年同期に比べ2.9ポイントの悪化、しかし、前期調査との比較では11.5ポイント改善、生産高は悪化しているものの、逆に採算性は改善傾向を示しています。

来期見通し

業況D・I値△36.5、生産高D・I値△36.4、資金繰りD・I値△31.8と、前年同期に比べすべてのD・I値は悪化を示しています。また、前期調査との比較では逆にすべてのD・I値は改善傾向を示しており、持ち直してきているが、依然としてマイナス数値は高く予断を許さない来期見通しとなっています。

2) 建 設 業

完 成 工 事 高

前年比で「増加企業」28.6%、「減少企業」52.4%、

D・I値△23.8と前年同期に比べ28.2ポイントの大幅な改善傾向を示しているが、前期調査との比較では同じ状況を示しており、落ち着きを見せているが、全体的にはまだ依然としてマイナス数値も高く厳しい状況にあることに変わりはありません。

採算 前年比で「好転企業」9.5%、「悪化企業」52.4%
D・I値△42.9と前年同期に比べ5.1ポイントの改善傾向を示していますが、前期調査との比較では4.9ポイントの悪化傾向を示しており、徐々に以前の水準に戻りつつあり厳しい状況となっています。

来期見通し 業況D・I値△57.1、完成工事高D・I値△62.0、資金繰りD・I値△52.4と前年同期に比べすべてのD・I値は悪化傾向を示しています。また、前期調査との比較でもすべてのD・I値は悪化傾向を示しており、暗い来期見通となっています。

3) 卸売業

売上高 前年比で「増加企業」28.6%「減少企業」52.2%、
D・I値△21.8と前年同期に比べ23.6ポイントと大幅な改善傾向を示しています。また、前期調査との比較でも11.5ポイントの改善傾向を示しており、徐々にではあるが明るさを取り戻しつつあります。

採算 前年比で「好転企業」21.7%、「悪化企業」43.5%、
D・I値△21.8と前年同期に比べ23.6ポイントと大幅な改善傾向を示しています。また、前期調査との比較でも11.5ポイントの改善傾向を示しており、徐々にではあるが売上高同様に明るさが見える状況となっています。

来期見通し 業況D・I値△26.0、売上高D・I値△34.7、資金繰りD・I値△21.8と前年同期に比べ売上高D・I値以外は改善傾向を示しており、前期調査との比較でも同じ状況となっており、全体的には明るさが見える来期見通しとなっています。

4) 小売業

売上高 前年比で「増加企業」18.2%「減少企業」59.1%、
D・I値△40.9と前年同期と比べて25.9ポイントと大幅な悪化傾向を示しています。また、前期調査との比較でも2.7ポイント悪化傾向を示しており、依然として数値も高く厳しい状況となっています。

採算 前年比で「好転企業」13.6%「悪化企業」54.6%、
D・I値△41.0と前年同期と比べて26.0ポイントの大幅

な悪化傾向を示しています。しかし、前期調査との比較では逆に11.4ポイント改善傾向を示しており、ここにきて採算については明るい兆しが見えてきているが、依然として厳しい状況にあることに変わりはありません。

来期見通し

業況D・I値△36.4、売上高D・I値△36.4、資金繰りD・I値△40.9と前年同期と比べすべて大幅な悪化傾向を示しており、前期調査との比較でもすべてのD・I値は悪化傾向を示しており、全体的に暗い来期見通しとなっています。

5) サービス業

売上高

前年比で「増加企業」10.5%、「減少企業」68.4%、D・I値△57.9と前年同期と比べ0.7ポイントと小幅であるが悪化傾向を示しています。また、前期調査との比較でも2.9ポイント悪化傾向にあるが、ほぼ同じ状況にあり落ち着きを取り戻しつつあります。

採算

前年比で「好転企業」5.3%、「悪化企業」73.7%、D・I値△68.4と前年同期と比べ16.0ポイント悪化傾向を示しており、前期調査との比較でも13.4ポイント悪化しており、採算面では依然として数値は高く厳しい状況にあります。

来期見通し

業況D・I値△52.7、売上高D・I値△52.7、資金繰りD・I値△47.4と前年同期と比べD・I値はすべて改善傾向を示しています。しかし、前期調査との比較ではすべて悪化傾向を示しており、再び厳しい来期見通しとなっています。

業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	同業者間の競合	諸 経 費 増	得 意 先 減 少	人 件 費 増	人 材 不 足
建 設 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	人 件 費 増	諸 経 費 増	人 材 不 足
卸 売 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	人 材 不 足	諸 経 費 増	人 件 費 増
小 売 業	同業者間の競合	諸 経 費 増	得 意 先 減 少	人 材 不 足	売 掛 金 回 収 難
サービ業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 件 費 増	人 材 不 足
合 計	同業者間の競合	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。